

ドローン実演講習開く コンクリートサポートCら



コンクリートサポートセンターとFLIGHTSは11日、ドローンを用いた橋梁点検技術の実

演講習会「写真」を開催した。午前と午後の2回、座学やドローンのデモフライトを実施し

た。建設コンサルタント業などを対象としており、合わせて約40人が参加した。

実演講習会は、DJI

JAPANの技術支援を受け、FLIGHTSと大日本コンサルタントが開発した「無人航空機(マルチコプター)を利用した橋梁点検システム」を用いて行われた。冒

頭、コンクリートサポートセンターの八波治男代表取締役は、「今回紹介してもらう技術は、いかに使える写真を撮るかというところに着目しているという、私の知っている技術では見られないものだったため、わが社でも導入した。座学とデモフライトで、長所と短所を伝えることで、維持管理における安全や作業の効率化に協力できればと思っている」と語った。

コンクリートサポートセンター社内で行われた座学では、ドローンを利用した橋梁点検の基本的な知識やドローンに求められる性能、撮影した画像の処理方法などを説明。その後、会社近くの田村大橋に移動し、ドローンのデモフライトを実施した。

今回使用したシステムは、セミオートで動作

し、間隔制御や正対制御などを自動で行うほか、画像も自動で取得する。また、バッテリー交換時などわずかな時間で、取得した画像をパソコンに取り込み、画像の精度を確認できるため、再度撮影が必要な判断などを現場で即座にすることができるといふメリットがある。

飛行開始から撮影、画像処理までの一連の作業を見終えた参加者たちは、機体の性能などについて担当者らに質問をしており、システムに対して興味を持ったようだった。